

山形大学校友会理事会（第19回）議事録

平成28年2月19日（金）

15時00分～16時15分

山形大学事務局第1会議室

（議題）

- 1 平成27年度事業の進捗状況について
 - (1) 実施事業の進捗状況について
 - (2) 収支決算見込みについて
- 2 平成28年度事業について
 - (1) 予算概要（イメージ）について
 - (2) 校友会事業の検討に当たって（基本方針案）について
 - (3) 校友会事業計画書の申請様式について
- 3 大学院学生表彰者（校友会長賞）の決定報告について
- 4 校友会設立10周年記念事業について
- 5 その他
 - (1) 校友会事業運営等に学生を参加させることについて
 - (2) 「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」の集計結果について
 - (3) 校友会メールマガジンの配信状況について
 - (4) 「第1回山形大学若手卒業生の会（同窓会）」の開催報告について
 - (5) 平成27年度山形大学OB&OGセミナーの開催について
 - (6) その他

（出席者）

- 会 長： 小山清人（議長）
副会長： 長沼龍平、神戸士郎
理 事： 大宮孝治、丹野憲昭、角田正一、長谷部利信、木村康二、加藤丈夫、
佐藤和佳子、山崎洋一郎、齋藤博行、大場好弘、是川晴彦（國方敬司の代理）、竹田隆一、奥野貴士（栗山恭直の代理）、山川光徳、結城敏夫、
岩城功希
監 事： 丸山俊明、寒河江良三

（欠席者）

- 理 事： 井上宏彦、阿部吉幸、長南邦彦、大場好弘、松山裕城

（列席者）

- 大沼校友会事務局長、山口校友会事務局次長、渡部係員

議事に先立ち、小山会長から挨拶があり、本理事会への出欠状況について紹介があった。

1 平成27年度事業の進捗状況について

- (1) 実施事業の進捗状況について
- (2) 収支決算見込みについて

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成27年度実施事業進捗状況一覧」、「平成27年度収支決算見込み」について資料1及び資料2に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る 1 月 27 日（水）開催の校友会専門委員会（以下「専門委員会」という。）において資料 1 及び資料 2 に基づき報告し、了承されたものである。
- (2) 資料 1 は各事業の進捗状況を事務的に整理したものであるが、現時点においてすでに事業が終了したものが 11 件（黄色で表示）、事業継続中が 17 件である。
また、事業の実施及び進捗状況については、席上配付した「事業実施報告（中間報告）」で確認できる。
なお、「マレーシアとの学生交流拡大事業」については、サマーキャンプへの学生の申し込み期間に間に合わなかったとして未実施となった。
- (3) 前回の校友会理事会（以下「理事会」という。）での決定に基づき、「博士課程学生研究発表奨励事業」の大学院医学系研究科分として、予備費から 30 万円計上している。
- (4) 平成 27 年度は継続 19 及び新規 10 の計 29 事業で、予備費を含めた事業費総額は 23,220 千円である。
- (5) 平成 27 年度の収支決算見込みは資料 2 のとおりであるが、収入は、新入生及び一般の入会者が予想より若干の増となったため全体で 26 万円弱の増、支出のうち事業費は、今後の支出見込みを踏まえ 20,279 千円程の決算が見込まれる。
- (6) 最終的な平成 27 年度事業報告及び収支決算は会計監査を経た上で、例年 6 月に開催する理事会において審議される。

事務局からの説明後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

2 平成 28 年度事業について

- (1) 予算概要（イメージ）について
- (2) 校友会事業の検討に当たって（基本方針案）について
- (3) 校友会事業計画書の申請様式について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成 28 年度予算概要（イメージ）」、「山形大学校友会事業の検討に当たって（基本方針案）」、「平成 28 年度山形大学校友会事業計画書の申請様式」について資料 3、資料 4 及び資料 5 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る 1 月 27 日（水）開催の専門委員会において資料 3、資料 4 及び資料 5 に基づき報告し、了承されたものである。
- (2) 平成 27 年度決算見込みを踏まえ、平成 28 年度予算概要は資料 3 のとおりと考えている。通常の事業費として本年度の決算見込額と同程度の 20,000 千円、さらに校友会 10 周年記念事業経費として 300 万円を確保した場合、平成 29 年度への繰越し額は 400 万円弱となる見込みである。
- (3) 平成 28 年度以降における校友会事業の検討に当たって、これまでの理事会や専門委員会での審議経過等も踏まえ、資料 4 のとおり基本方針案を策定した。
- (4) なお、前回の専門委員会での審議の結果、資料 4 の別紙 1 に掲げる 26 件は、平成 28 年度継続事業としての優位性を認めることとするが、採択金額については実績等を精査して計上することとした。
- (5) 平成 28 年度以降、各事業の評価を行うため「事業実施報告書」の記載内容をより明確化するとともに、新たに自己評価の項目を追加することに伴い、報告書の様式も一部変更することとした。

- (6) 「平成 28 年度山形大学校友会事業計画書」の申請様式は資料 5 のとおりとし、平成 28 年 3 月 31 日（木）を提出期限とする。
なお、2 月中には照会文書を発出したい。

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

◆平成28年度継続事業としての優先性を認める26事業

(修学関係)

- 1 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業（4年目）
- 2 グローバル化に向けた授業への修学支援（4年目）
- 3 博士課程学生研究発表奨励事業（4年目）
- 4 校友会推薦図書コーナー「後輩に是非、こんな本を読ませたい！」（3年目）
- 5 実践教育プログラム合宿型交流ワークショップ（3年目）
- 6 山形大学実践教育プログラム 長期インターンシップの実施等（3年目）
- 7 山形大学校友会大学院学生表彰制度（3年目）
- 8 新興国学生大使派遣プログラム（2年目）
- 9 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業（2年目）
- 10 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈（2年目）
- 11 首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備（2年目）

(課外活動関係)

- 1 ビーチサッカー大会 in 庄内（5年目）
- 2 各キャンパス大学祭への支援（4年目）
- 3 公認サークルへの支援（4年目）
- 4 山形大学雪合戦大会（3年目）
- 5 高齢化率の高い離島における継続した東日本大震災復興支援事業（3年目）
- 6 科学で東北盛り上げ隊への支援（2年目）
- 7 山形大学駅伝大会（2年目）

(就職関係)

- 1 首都圏開催合同企業説明会への参加と東京サテライト案内（4年目）
- 2 学生中心に行う優良企業訪問への支援（2年目）

(保護者、本学運営、同窓会等関係)

- 1 卒業生等による学生支援体制の整備（5年目）
- 2 新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会（4年目）
- 3 山形大学卒業生講演会（4年目）
- 4 オペラを核とした《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進（3年目）
- 5 山形大学東京サテライト 卒業・修了制作展（3年目）
- 6 若手卒業生の組織化支援（2年目）

3 大学院学生表彰者（校友会会長賞）の決定報告について

議長から本件について報告願いたい旨発言があり、事務局から、今年度で 2 回目となる大学院学生表彰制度について、資料 6-1、資料 6-2 及び資料 6-3 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 「大学院学生表彰に関する申し合わせ（資料 6-2）」に基づき、被表彰者は専門委員会において決定することとなっている。
- (2) 今年度推薦のあった大学院学生 14 名は全員が表彰基準のいずれかに該当すると判断され、専門委員会として 14 名全員を被表彰者に決定した。
- (3) 表彰者には、「山形大学校友会会長賞」として表彰状（資料 6-3）と奨励記念品（金 5 万円）を贈呈する。
- (4) 表彰式は、理事会終了後にこの会場で執り行う。

説明の後、概ね次のような意見交換があった。

- 申し合わせ上は推薦を随時受け付けることとなっているが、医学部では各教授に通知された学内締め切りに間に合わず推薦できなかったという事例があった。申し合わせに各学部の締め切りがあることを記載してもらうことはできないか。
(加藤理事)
- ◎ 規定上は随時受け付けるとなっているが、当該年度の早い時期に校友会会長名で各研究科長に対し年度分の提出期限を示しているところである。
そして、期限までに推薦された大学院学生を例年 1 月末に開催する専門委員会で審議し決定することとしている。
先の専門委員会でも表彰基準を一部見直すよう要望が寄せられているところであり、本件についても例えば 12 月末を提出期限として明記する方法等も含めて次回の理事会で検討したい。(事務局)

4 校友会設立 10 周年記念事業について

議長から本件について報告願いたい旨発言があり、事務局から、10 周年記念事業の概略について資料 7 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 10 周年記念事業の内容については、これまで 3 回の会議を開催して「企画検討ワーキング」において検討いただいた。
- (2) 今後は、小山学長（校友会会長）を本記念事業の会長とし、その下に記念事業の実施委員会を組織し具体化に向けて準備していくこととしたい。
- (3) 実施委員会の委員には、企画検討ワーキング委員全員になってもらい、委員長には大場理事・副学長、副委員長には長沼ふすま同窓会会長をお願いしている。
- (4) 記念事業の記念講演会の講師には上田準二氏（ファミリーマート代表取締役会長・山大文理学部 1970 年卒）に内諾をいただいている。
- (5) 10 周年記念として新入生に進呈する「学生朝食奨励券」は、別添資料のような方法で実施したいと考えている。
- (6) 記念事業の開催日時は、本年 11 月 24 日（木）から 30 日（水）の午後に開催を予定しており、上田氏の日程等を調整の上で決定したい。

4 その他

議長から、その他として次の5項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 校友会事業運営等に学生を参加させることについて

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 資料8は校友会の事業運営等に学生を参加させることについて意見を伺うための資料として現状と課題をまとめたものである。
- ② 本件について専門委員会において出された意見等も掲載している。
- ③ 校友会の事業運営等に学生を参加させることについてのご意見を伺いたい。

説明の後、概ね次のような意見交換があった。

- ふすま同窓会では、卒業の段階で学年幹事2名を学部長推薦でお願いしている。地元山形に就職する人を中心に選出し、学生本人とも相談し決定されているようだ。(長沼理事)
- ◎ 学生は校友会の会員であり、入学直後から何らかの形で校友会事業に学生を取り込むような体制は大事なことであろう。(事務局)
- 校友会事業のすべてに学生が係わるのはむしろ問題があるのではないかと。(佐藤理事)
- ◎ 今のところ、校友会として具体的な考えは持ち合わせていないが、例えば、特別な事業枠を設定して、学生に企画段階から任せることから始める方法等も考えられる。(事務局)
- 「学生部会」のような組織を編成し、幅広く学生たちの意見や要望を聞くのも良いことではないかと。(神戸理事)

(2) 「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」の集計結果について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 本アンケートは、平成27年度において校友会が各同窓会支部総会等で卒業生と会う機会を利用し実施したものであり、合計224人からの回答を得て、その結果を集計したものである。(資料9参照)
- ② 学生時代で良かったことは、「友人との出会い」や「専門的な勉強」を選択する卒業生がとても多かった。
- ③ 一方、学生時代に学習しておけば良かったことには、「語学やコミュニケーション力」を挙げた卒業生が多かった。
- ④ アンケートの集計結果は校友会のホームページ上でも紹介しており、ご覧いただきたい。

(3) 校友会メールマガジンの配信状況について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 資料10は校友会メールマガジン配信登録者数をまとめたものである。
- ② 昨年と本年の1月同期の比較では、配信者数は1,000人程の増となっている。主なものとしては、小白川3学部の1年次学生や保護者が増えている。
- ③ メルマガの登録手続きについても一部変更し、校友会Webサイトに登録申し込みフォームを新たに設定し新規登録、解除等が容易にできるようになった。

(4)「第1回山形大学若手卒業生の会（同窓会）」の開催報告について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 昨年12月19日（土）の午前中に山形大学東京サテライトにおいて第1回山形大学若手卒業生の会（同窓会）を開催し、資料11はその概要をまとめたものである。
- ② 今回は4学部16名の卒業生が参加し、本学の栗野武文先生による授業（ワークショップ）を受講した。終了後には、次年度以降の実施方法について熱心に打ち合わせ会を行い、前向きな意見や要望が多く出されている。
- ③ 同日の午後で開催された「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク総会」において若手の会の報告を行うとともに懇親会にも参加し、先輩卒業生との懇親を深めることができた。

(5)平成26年度山形大学OB&OGセミナーの開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 今回のセミナーでは、参加者からの前回アンケートの要望等も踏まえ、阿部及び深尾の両理事・副学長に講演をお願いしている。（資料12参照）
- ② 若手卒業生にも多く参加してもらうため、今年度も平成の卒業生は、交流会費を一般参加者の半額としている。

(6) その他

特になし

配付資料一覧

- 席次
- 山形大学校友会理事・監事一覧（H28.2.19現在）
- 次第

[資料一覧]

資料1	平成27年度実施事業の進捗状況一覧
資料2	平成27年度収支決算見込み
資料3	平成28年度予算概要（イメージ）
資料4	校友会事業の検討に当たって（基本方針案）
資料5	平成28年度校友会事業計画書の申請様式（案）
資料6-1	平成27年度大学院学生表彰決定者一覧
資料6-2	山形大学大学院校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
資料6-3	表彰状（「山形大学校友会会長賞」）の様式
資料7	校友会設立10周年記念事業について
資料8	校友会の事業運営等に学生を参加させることについて（討論資料）
資料9	「山形大学卒業生の皆さまへのアンケート」の集計結果
資料10	校友会メールマガジンの配信状況
資料11	「第1回山形大学若手卒業生の会（同窓会）」の開催報告
資料12	平成27年度山形大学OB&OGセミナーの開催案内

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第18回（前回）議事録（H27.6.24）
- 4 校友会専門委員会第19回（前回）議事録（H28.1.27）
- 5 山形大学校友会の平成27年度における活動状況